

言語の力を巡る傑作歴史ファンタジー 超大作が日本上陸!



バベル

オックスフォード
翻訳家革命秘史

上下

R・F・クァン 古沢嘉通 訳
海外文学セレクション 四六判上製 東京創元社

「バベル」の新生たち

人物イラスト：鈴木康士



ロビン・スウィフト (バーディー)

本作の主人公。男性。広東出身。孤児。
広東で家族を病で喪い、自身も死にかけていたところをバベルの教授に助けられる。共に英国に渡り、バベルでの学究生活に備えて語学を学ぶ。一見したところではアジア人には見え、英国に馴染もうと努力している。思慮深く、行動に移す前によく考えるタイプ。



ヴィクトワール・ディグラウヴ

女性。ハイチ生まれの黒人。ロビンやラミーと同様、後見人と一緒にヨーロッパに渡ってきた。天才的な記憶力を持つ。バベルに来るまでに様々な出来事があったが、あきらめず学生の道をつかみ取った。ラミーと同じくひと目で外国人と分かる容姿であり、女性であることから大学内でも苦労することが多い。相手の話に辛抱強く耳を傾けるタイプ。



ラミズ・ラフィ・ミルザ (ラミー)

男性。カルカッタ出身。イスラム教徒。自国で語学に関する能力を見出され、バベルに入学する。大胆で行動的で攻撃的。ユーモアの持ち主でもあり、初対面のロビンとも意気投合する。なめらかな浅黒い肌を持ち、背が高く、しなやかな体つき。ひと目で外国人と分かる容姿だが、それを逆手にとって相手を煙に巻くことも。差別視の強い英国においても自身を曲げずにいようとしている。



レティシア・プライス (レティ)

女性。英国生まれの白人。冷静で、遠慮がなく、厳格。礼儀正しい努力家。我の強い性格で、女性が少ない大学内でも自身の意見をはっきりと口にする。ラミーともよく衝突し、口論に発展することも。裕福な海軍軍人の上流家庭で育ったため、ロビンたち非白人の抱える被差別問題に鈍感なところもある。瞳の色は淡いブルー。

大学の王立翻訳研究所、通称バベルと帝国に叛旗を翻す秘密結社ヘルメス。
二つの存在に翻弄される青年たちの葛藤と成長を描く。